

## 自宅をオフィス化する Enterprise Class Teleworker

*Enterprise Class Teleworker ソリューションにより、在宅ユーザの信頼性、可用性、セキュリティが向上しました。*

シスコシステムズ® で働く従業員の多くは、勤務時間の全体であれ、一部であれ、または必要なときだけであれ、自宅で働く必要があります。そのためシスコでは、2001年にリモートからネットワークに接続できるよう、「ソフトウェア」ベースの仮想プライベートネットワーク (VPN) ソリューションを導入しました。

しかし、ソフトウェアベースのソリューションでは制約が多く、管理面での課題もありました。そのため、シスコ® では、在宅勤務者向けサービスについて、安全でシンプルで手間のかからない導入と管理を実現させながらその機能を充実させる方法を求めています。

### ビジネス上の利点

- 信頼性、可用性、セキュリティが向上
- ノータッチ導入により総所有コストを 20% 低減
- 81% のユーザでオンラインの可用性が向上
- ノータッチ導入と総合管理機能により 35,000 台以上のルータのサポートが可能に

「Enterprise-Class Teleworker サービスは、4000 人以上の従業員が利用しており、最終的には 20,000 人以上の従業員の利用が見込まれます」

Plamen Nedeltchev, Solution Architect, Cisco IT

シスコ IT では、新たにハードウェアベースのソリューションを導入しました。それが、Enterprise-Class Teleworker ソリューションです。ECT ソリューションは4つの特徴によって支えられています。それは、エンドツーエンドの接続性、エンドツーエンドでの導入、エンドツーエンドの管理、そして、エンドツーエンドのセキュリティです。また、このソリューションは、ルータと従業員宅の高速ブロードバンド接続の組み合わせにより実現されています。

いくつものコンポーネントが連携動作してソリューションを管理します。シスコが自社で開発した企業管理ツール (EMAN) はリソースの監視や、自動アラート送信、変更管理の追跡、シスコネットワーク全体の利用率の測定を行います。シスコの IP Solution Center では、ルータの設定やポリシーを作成、維持します。また、Cisco CNS 2100 Intelligence Engine は設定とポリシー情報をリモートのルータにダウンロードする役割を果たします。

イノベーションを前面に押し出しました。シスコ IT のプロジェクトチームには、全世界の在宅勤務者のニーズに応えることのできる持続可能な導入・サポートモデルをグローバルで構築するという高い目標がありました。このプロジェクトの最大の難関は、セキュリティ面で妥協することなく、運用経費、サポートコスト、管理費を低減させることでした。

テクニカルサポート利用件数が減少しました。シスコ IT では、設定・導入時のテクニカルサポート利用件数を減らすことも目標としていました。これを達成するため、シスコ IT では、設定プロセスを自動化した「ノータッチ」プロビジョニングを実現しました。これにより、それまで技術担当が費やしていた時間と手間を実質的になくすことができました。また、ユーザ側では導入プロセスが簡素化されました。

2005年12月現在、Cisco Enterprise-Class Teleworker ソリューションのユーザ数は 4200 にも上っています。このソリューションのグローバル管理機能は、信頼性、可用性、セキュリティの保証に一役買っています。ソリューションには、シスコの様々なテクノロジーが利用されており、総所有コストは低く抑えられています。Enterprise-Class Teleworker ソリューションでは「初めて」のものが多くありました。例えば、インターネットを仮想的な「オフィスネットワーク」に変えた Dynamic Multipoint VPN (DMVPN) の概念、IT 環境では初となる公開鍵暗号基盤 (PKI) の利用、初のノータッチ導入の実現。また、エンドツーエンドの導入、プロビジョニング、および管理が自動化されたのも初めてで、さらには、ユーザの接続を中断することなく変更やセキュリティポリシーをリアルタイムでプッシュする機能も初めてのものでした。

その他、各ビジネスソリューションに対する Cisco IT の事例研究は、  
Cisco IT @ Work をご覧ください  
<http://www.cisco.com/jp> (シスコシステムズ→Cisco IT@ Work)

#### 付記

この文書に記載されている事例は、シスコが自社製品の展開によって得たものであり、この結果には様々な要因が関連していると考えられるため、同様の結果を別の事例で得られることを保証するものではありません。

この文書は、明示、黙示に関わらず、商品性の保証や特定用途への適合性を含む、いかなる保証をも与えるものではありません。

司法権によっては、明示、黙示に関わらず上記免責を認めない場合があります。その場合、この免責事項は適用されないことがあります。

©2006 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCiscoロゴは米国およびその他の国におけるCisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標、登録商標または登録サービスマークです。この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



#### シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122(通話料無料)、03-6670-2992(携帯電話、PHS)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00